

園芸部

自慢のあんぽ柿を全国へ
「平成28年産福島県あんぽ柿出発式」

福島県や福島市、伊達市、桑折町、国見町、関係団体で構成されている「福島県あんぽ柿産地振興協会」は、12月1日（木）に、伊達市のJAふくしま未来梁川共選場で「あんぽ柿出発式」を行いました。



本県産のあんぽ柿は、東京電力福島第一電力発電所事故により加工自粛となっていました。平成25年度より、国や県の指導のもと加工再開モデル地区を設定し、全量非破壊検査やGAP（生産工程管理）の導入を条件に加工・出荷を再開しています。出荷再開4年目を迎える今年は、加工再開モデル地区を108地区に拡大し、出荷量はあんぽ柿産地振興協会として、震災前の80%に当たる1,250トン計画しています。また、消費者より要望の強かった個包装製品の出荷を再開するにあたり、新たに個包装用検査機器を導入し更なる需要拡大に向けての取組を続けております。

同協会の会長を務める全農福島 園芸部 半澤正志部長は「おいしく、安全で品質のよいあんぽ柿を消費地に届けていく。福島県のあんぽ柿は90年の歴史を誇る。福島県の産地再生とさらなる振興に一丸となつて取り組んでいく」と挨拶し今年の出荷に対する意気込みを語りました。

あんぽ柿検査情報はJA全農福島のHPからご覧いただけます。
<http://www.jszenohor.jp/product/vegi/furuit/winter/kensah.html>

生産資材部

福島県と共同で
「天のつぶ専用一発肥料」を開発！

遂に福島県の奨励品種「天のつぶ」のための肥料が発売されます！その名も「基肥一発天のつぶ2200」！！

福島県では、奨励品種である天のつぶの普及目標面積6,000ha達成に向けて取り組んでおり、28年度は5,000ha超という結果に結びついております。一方、倒伏耐性が高いなどの、天のつぶが持つ優れた特徴から行われる多肥栽培などを原因とした、食味のばらつきが販売戦略上の問題にもなっています。そうした状況を打破し、良食味の天のつぶを安定して栽培するために、肥料メーカーであるジェイカムアグリ(株)・福島県・JA全農福島が共同しこの肥料が生まれました。

この肥料は追肥を必要としない基肥一発肥料になります。今まで天のつぶに一発肥料を使用する場合は、コシヒカリやひとめぼれ専用などのなどが使用されてきました。「基肥一発天のつぶ2200」は天のつぶの生育にフィットさせるため、4種類の窒素を使用しています。窒素…燐酸…加里は22…10…10で配合されており、作物の生育に重要な役割を果たす苦土も配合しています。この肥料を10aあたり2袋使用することで天のつぶの栽培に必要な成分を、きっちり補給する事が出来ます。28年度は農業総合センターでの試験に加え、浜通り・中通り・会津の各圃場で現地試験を行い、確かな結果を確認しています。

来春から販売開始です。天のつぶのより一層の普及とおいしい福島のお米作りのために、「基肥一発天のつぶ2200」をよろしくお願いします！



N:P:K:Mg=22:10:10:1
窒素は速効性・3種類の肥効調節型窒素の計4種類配合

1月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ふれあい食材
おすすめ
レシピ

クリームシチューのロールキャベツ煮込み



●材料は2人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材料

・直火焼き 銀のクリーム
シチュールー……………100g
・国産ロールキャベツ…2個
・じゃがいも……………2個
・玉ねぎ……………1個
・人参……………1/2個
・水……………600ml
・牛乳……………200ml
・バター……………10g

作り方

- 1 じゃがいも、人参は一口大に切る。玉ねぎは薄くスライスする。
- 2 鍋にバターを溶かし、玉ねぎを焦がさないように炒める。玉ねぎがしんなりしたら、じゃがいも、人参を加えて軽く炒め、水を加えて蓋をし沸騰したら、ロールキャベツを加えて材料が柔らかくなるまで煮込む。
- 3 シチュールーと牛乳を加えてとろみが出るまで煮込んだら出来上がり。

今月のイベント

12月5日	園芸部	福島市場初せり
12月10日	消費地販売部	JAふくしま未来（伊達地区）あんぽ柿トップセールス
12月12日	燃料部	JA-SS冬のキャンペーン抽選会
12月16日	畜産部	和牛子牛初セリ

ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

1月9日 園芸部 こめパワーマットの注文

1月10日 園芸部 種苗情報(春まき種子)

1月16日 生産資材部 水稻育苗箱処理剤の上手な使い方

1月17日 畜産部 営農相談室

1月23日 営農企画部 全農担い手対策について

1月30日 米穀部 ふくしまの米販売状況



東北地方の長期予報



＜予想される向こう1か月の天候＞

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

＜気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)＞

12月24日～1月23日
【気温】



【降水量】



【日照時間】

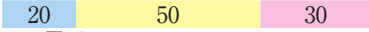


【降雪量】



＜気温経過の各階級の確率(%)＞

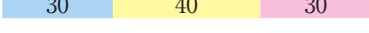
12月24日～12月30日



12月31日～1月6日



1月7日～1月20日



凡例： 低い（少ない） 平年並 高い（多い）
（仙台管区気象台 発表）

編集後記

2017年がスタートしました。新たな気持ちで新年を迎えた方も多いのではないのでしょうか。

年末年始の風物詩になりつつある、高校サッカー・高校ラグビー・春高バレーなどの全国大会。JA全農福島も地元の高校生を応援するべく、代表校へ「ふくしまの米」を贈呈しました。身体づくりの一環で、練習後におにぎりを食べるという生徒さんたち。「ふくしまの米」が彼らのパワーアップに繋がると思うと、嬉しい限りです。

白熱した試合に一喜一憂。精一杯戦った高校生へ、心からの拍手を送りながら、私も心機一転、がんばるぞ！と力をいただきました。

2017年も、どうぞよろしくお願いします。